

医療計画の中間見直しにおける在宅医療の整備目標について

- 2025年の在宅医療等の必要量の受け皿（提供体制）として、医療と介護の両面から提供体制をつくる必要があるため、保健医療計画と介護保険事業計画の整合性についてご意見を伺うものとなります。

2

在宅医療等の必要量に対する介護サービス見込み量の推計 ～医療計画と介護保険事業(支援)計画との整合性の確保～

令和2年10月30日
静岡地域医療構想調整会議

医療計画と介護保険事業（支援）計画の整合性の確保とは

■ 地域医療介護総合確保方針における記載

- 基礎データ、サービス必要量等の推計における整合性の確保（第2の2の3 抜粋）
 - ・特に**病床の機能分化・連携に伴い生じる、在宅医療等の新たなサービス必要量**に関する整合性の確保が重要である。
 - ・市町が**市町介護保険事業計画において掲げる介護の整備目標**と、都道府県が**医療計画において掲げる在宅医療の整備目標**とを整合的なものとし、医療・介護の提供体制を整備していく必要がある。

■ 整合性の確保の考え方

○ 整合性を確保すること

- ・介護保険事業計画(市町)、介護保険事業支援計画(県)における介護サービス量の見込みと医療計画における在宅医療(訪問診療)の整備目標

○ 整合性を確保する単位

- ・2次医療圏域（＝老人福祉圏域）

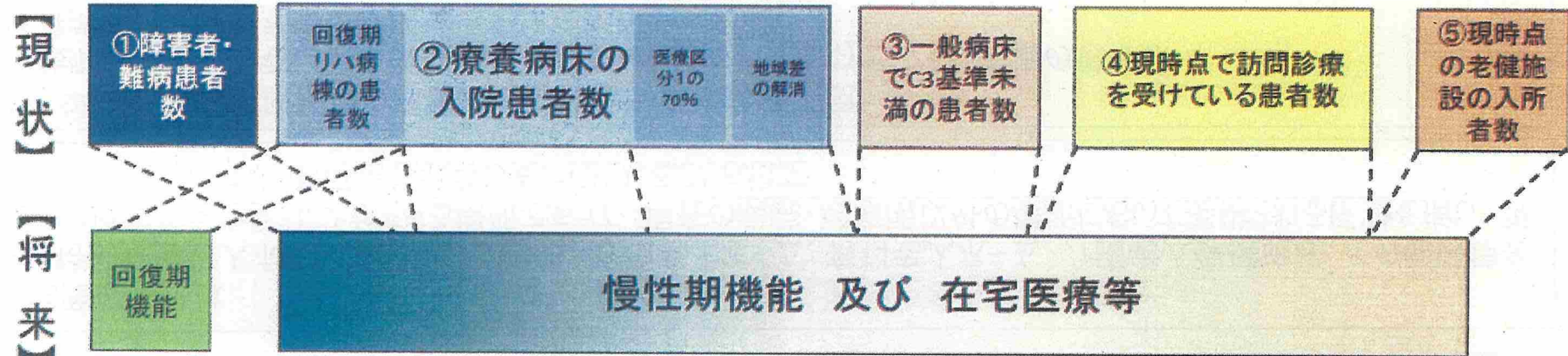
○ 整合性を確保する時点

- ・2023(令和5)年度（第8期介護保険事業計画終了時、医療計画終了時）
- ・2025(令和7)年度（地域医療構想の実現、地域包括ケアシステムの構築の年度）
※令和5年度の在宅医療等の必要量は、令和7年度の必要量を年数で按分して算出する

○ 協議の場（＝地域包括ケア推進ネットワーク会議圏域会議）

- ・2次医療圏域ごとに、県や市町の医療介護担当者等の関係者による協議の場を設置し、在宅医療等の整備目標及び介護サービスの見込み量について協議
- ・地域の実情を踏まえ、県と市町での役割分担についても協議を行う

地域医療構想とは

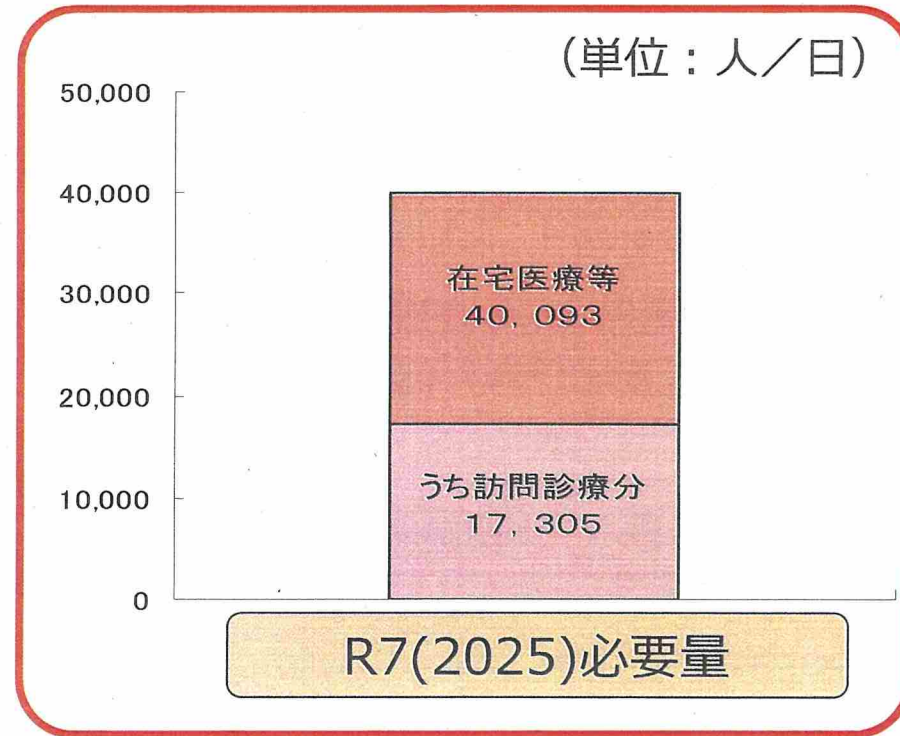
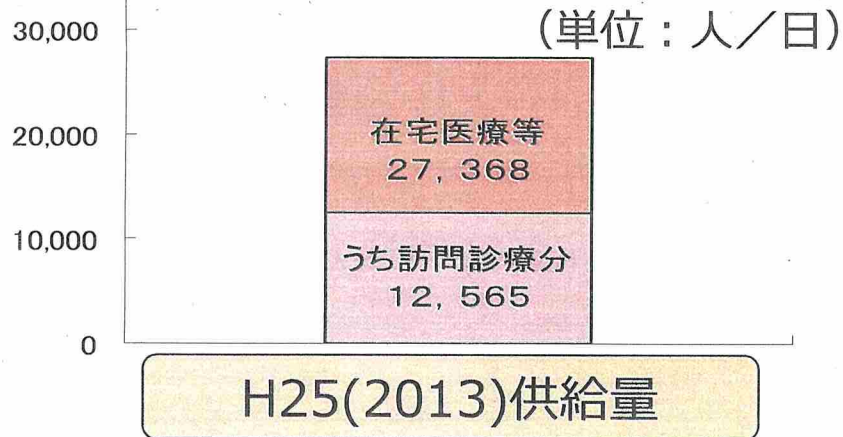


		考え方
一般病床	C 3 基準未満の患者	一般病床のうち、医療資源投入量（※）175点未満の医療需要
療養病床	医療区分 1 の70%	療養病床（医療療養と介護療養をともに含む）のうち医療区分 1 の70%の医療需要
	入院受療率の地域差の解消	療養病床の医療需要から、上記の医療区分 1 の70%に相当する医療需要と、回復期リハビリテーションの医療需要を除いた残りの医療需要について、地域差の解消により在宅医療等で対応が必要となる医療需要

（※）医療資源投入量：患者に対して行われた診療行為を診察報酬の出来高点数で換算した値

在宅医療等の必要量

※地域差解消分にあたる患者数は、平成25(2013)年度には含まれず、令和7(2025)年には含まれる。
 ※在宅医療等の必要量については、在宅医療等を必要とする対象者数を表している。



●「在宅医療等」とは

居宅、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、介護老人保健施設、その他医療を受ける者が療養生活を営むことができる場所であって、現在の病院・診療所以外の場所において提供される医療を指し、現在の療養病床以外でも対応可能な患者の受け皿となることも想定

●2025年における在宅医療等の必要量（推計値）に含まれる項目

- ・一般病床の入院患者のうち、医療投入資源(入院基本料を除く)が175点未満の患者数
- ・療養病床の入院患者のうち、医療区分Ⅰの患者数の70%
- ・訪問診療を受けている患者数及び介護老人保健施設のサービス受給者数

(2013年の性・年齢階級別の割合に、2025年の性・年齢階級別推計人口を乗じて総和することで推計)

- ・療養病床の各都道府県(構想区域)における入院受療率の地域差解消分

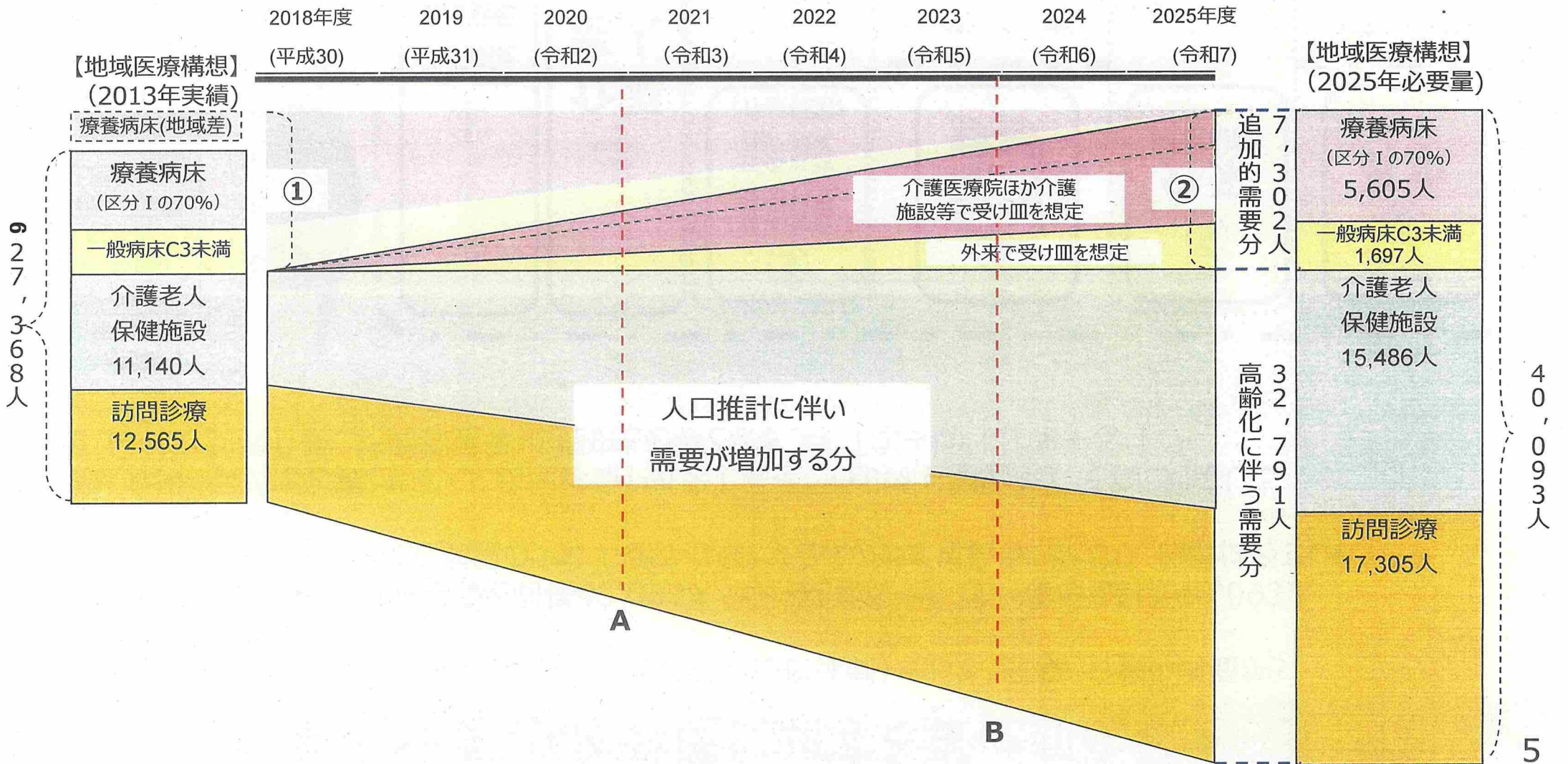
地域医療構想を踏まえた2025年における在宅医療等の必要量のイメージ

○介護施設、在宅医療等のサービス量の見込み方のイメージ

①地域医療構想の実現に伴い、病床が削減、転換等する分

②①に伴い、入院以外の受け皿を地域で確保する分

○A（第8次計画の目標年度：2020年）、B（第9次計画の目標年度：2023年）の提供見込み量を算定

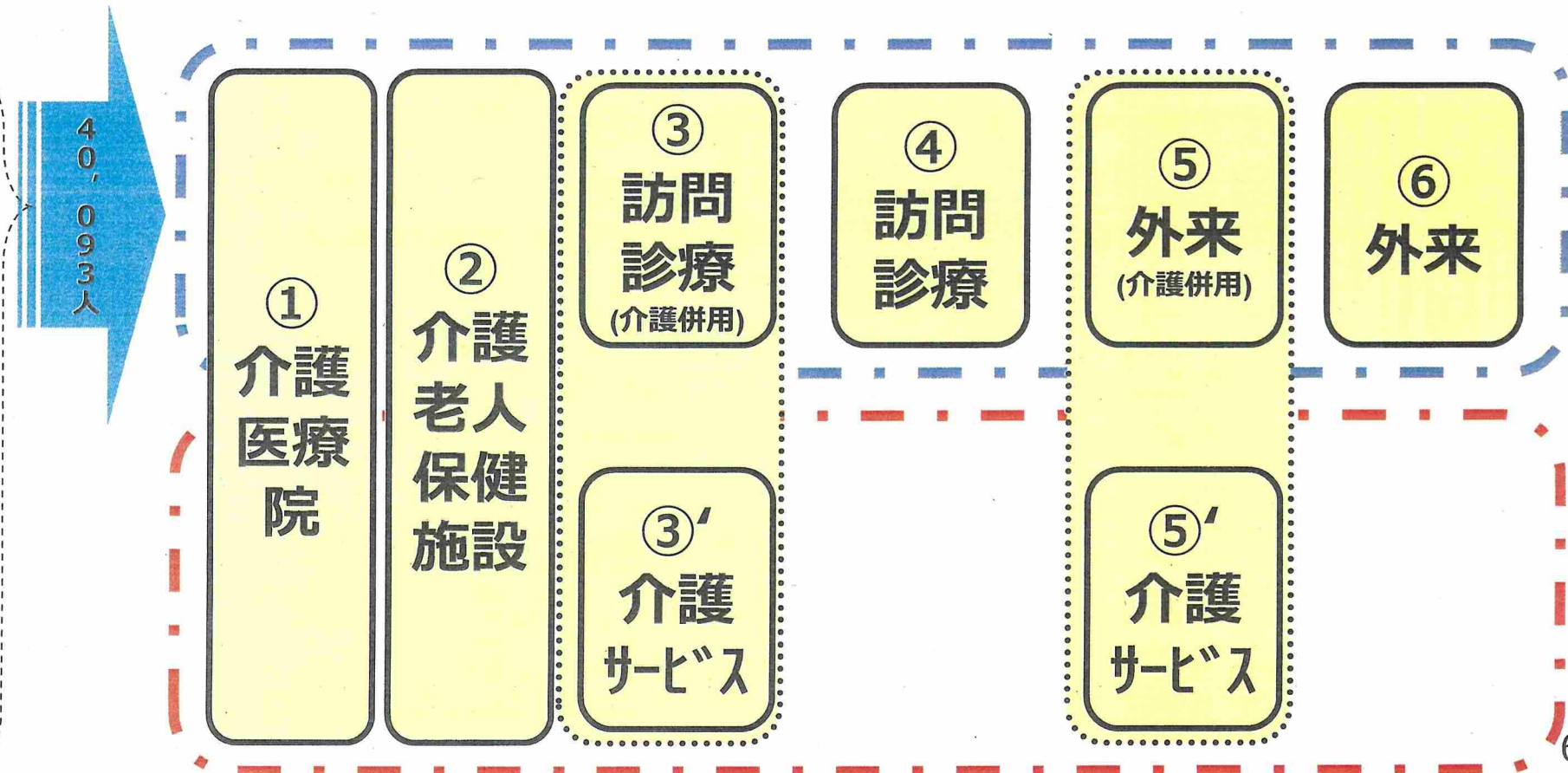


在宅医療等の必要量に対する受け皿のイメージ

- 2025年の在宅医療等の必要量40,093人の受け皿（提供体制）として、医療と介護の両面から提供体制をつくる必要がある。
- 医療の提供は在宅医療との必要量と同様40,093人分必要となる ⇒ ①～⑥の合計が40,093人
- 介護の提供は在宅医療等の必要量のうち、介護を必要とする人の分を見込むこととなり、合計は必ずしも40,093人とはならない
- 医療と介護の両方を必要とする人に訪問診療や外来で医療の提供をする場合は、それに対応した介護サービス(訪問介護、訪問看護等)の提供も必要となる ⇒ 「③+③'」、「⑤+⑤'」

【地域医療構想】
(2025年必要量)

療養病床 (区分Ⅰの70%) 5,605人
一般病床C3未満 1,697人
介護老人 保健施設 15,486人
訪問診療 17,305人

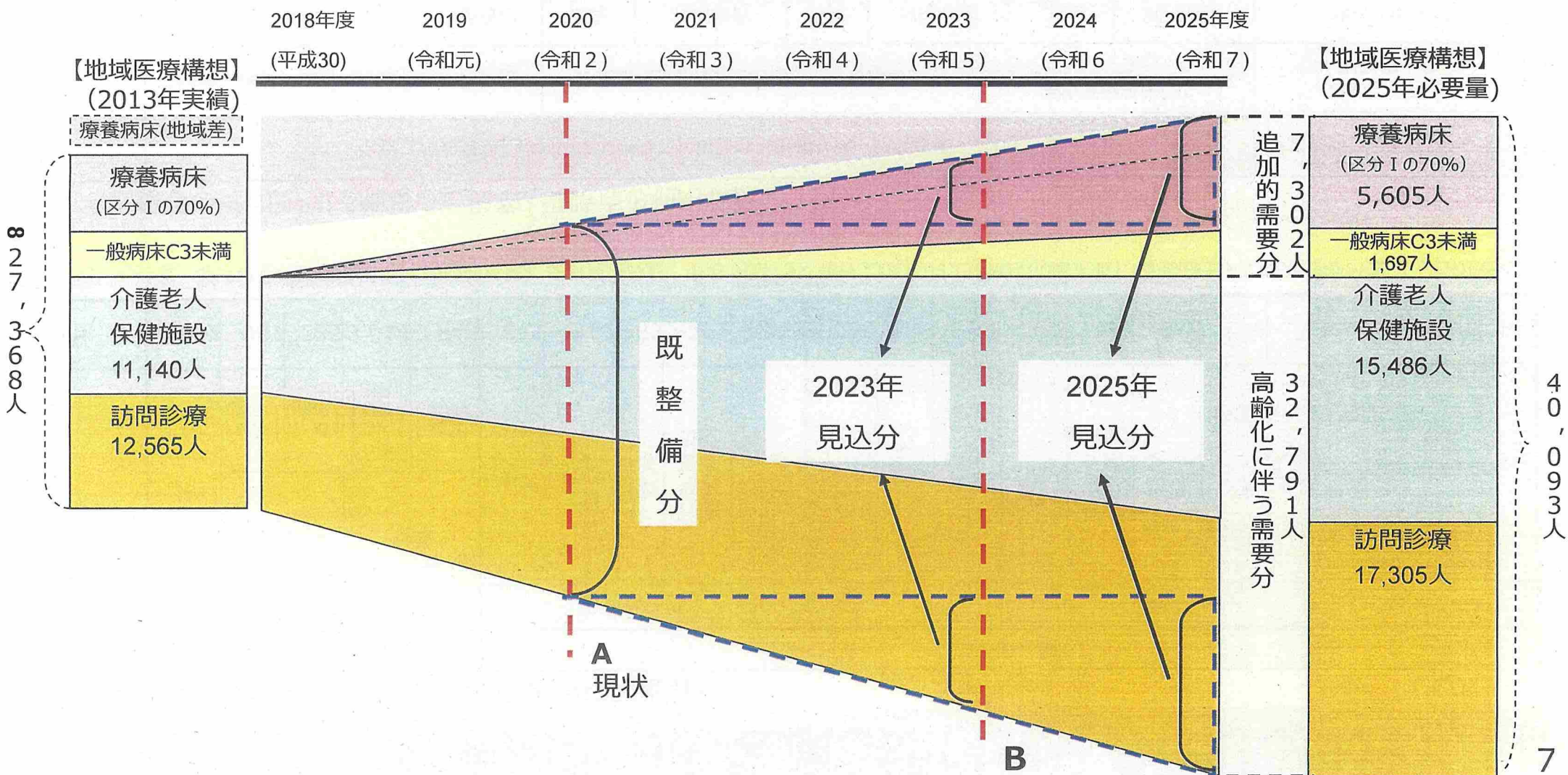


在宅医療等の必要量に対するサービス量の見込み方のイメージ

○在宅医療等のサービス量の見込み方のイメージ

在宅医療等の必要量からこれまでに整備された分を除いた量が、今回追加見込分となる。

$$\text{今回見込分} = \text{在宅医療等の必要量} - \text{既整備分}$$



2025年の在宅医療等の必要量と提供見込み(市町推計)①

○2025年の在宅医療等の必要量と提供見込み(市町推計)

(人/月)

市町名	必要量					提供見込量															
	合計	入院医療から在宅医療へ(追加分)		高齢化に伴う需要増		既整備分					今回見込分										
		療養病床	一般病床	介護老人保健施設	訪問診療	計	介護医療院	療養病床	介護老人保健施設	訪問診療	計	介護医療院	療養病床	外来	介護老人保健施設	訪問診療	その他				
																	介護老人福祉施設	特定入所者生活介護	看護小規模多機能型	訪問看護	医療病床
静岡市	8,082	987	235	3,014	3,845	6,843	192	169	2,272	4,210	1,239	186	-169	235	330	516	0	0	0	0	141

(出典) 必要量：静岡県地域医療構想(国の機械的試算)、提供見込み量：市町の推計値の積み上げ(10月25日時点の暫定値) ※四捨五入により数字が一致しないものがある

○在宅医療等の受け皿となる施設の定員数と現時点の利用状況

圏域名	令和2年4月現在の施設定員数及び利用者数(定員：人、利用者数：人/月)										訪問診療の提供状況(人/月)
	介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設		介護医療院		医療療養病床(25:1) ※		利用者住所地別利用人数
	定員	利用者数	定員	利用者数	定員	利用者数	定員	利用者数	定員	利用者数	令和2年4月
静岡市	3,711	3,449	2,544	2,272	180	169	198	192	0	0	4,210

(出典・時点) ・介護医療院、介護療養病床、介護老人保健施設：介護事業状況報告・2020(令和2年)年4月利用分 ※四捨五入により数字が一致しないものがある
 ・医療療養病床：療養病床転換意向調査・2020年度
 ・訪問診療：しずおか茶っとシステム集計データ2020(令和2年)年4月利用分

2025年の在宅医療等の必要量と提供見込み(市町推計)②

○2025年の必要量(地域医療構想)と提供見込み量(市町推計値)の差

(人/月)

市町名	必要量(追加的需要分+高齢化に伴う需要分)					提供見込み量(追加的需要分+高齢化分)								
	合計	入院医療から在宅医療へ(追加分)		高齢化に伴う需要増		介護医療院	外来	介護老人保健施設	訪問診療	その他				
		〔療養病床〕	〔一般病床〕	〔介護老人保健施設〕	〔訪問診療〕					介護老人福祉施設	特定入所者生活介護	看護小規模多機能型	訪問看護	医療病床
静岡市	8,082	987	235	3,014	3,845	378	235	2,602	4,726	0	0	0	0	141

(出典) 必要量：静岡県地域医療構想(国の機械的試算)、提供見込み量：市町の推計値の積み上げ(10月25日時点の暫定値) ※四捨五入により数字が一致しないものがある

○提供見込の主な考え方

市町名	内容
静岡市	老健の58床新設を見込む。主に老健と訪問診療で対応。転換検討している医療病床(20:1)141床について、その他へ計上。

2023年の在宅医療等の必要量と提供見込み(市町推計)①

○2023年の在宅医療等の必要量と提供見込み(市町推計)

(人/月)

市町名	必要量					提供見込量																
	合計	入院医療から在宅医療へ(追加分)		高齢化に伴う需要増		既整備分					今回見込分											
		療養病床	一般病床	介護老人保健施設	訪問診療	計	介護医療院	療養病床	介護老人保健施設	訪問診療	計	介護医療院	療養病床	外来	介護老人保健施設	訪問診療	その他					
																	介護老人福祉施設	特定入所者生活介護	看護小規模多機能型	訪問看護	医療病床	
静岡市	7,436	740	177	2,849	3,670	6,843	192	169	2,272	4,210	593	186	-169	0	330	246	0	0	0	0	0	0

(出典) 必要量：静岡県地域医療構想(国の機械的試算)、提供見込み量：市町の推計値の積み上げ(10月25日時点の暫定値) ※四捨五入により数字が一致しないものがある

○在宅医療等の受け皿となる施設の定員数と現時点の利用状況

圏域名	令和2年4月現在の施設定員数及び利用者数(定員：人、利用者数：人/月)										訪問診療の提供状況(人/月)
	介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設		介護医療院		医療療養病床(25:1) ※		利用者住所地別利用人数
	定員	利用者数	定員	利用者数	定員	利用者数	定員	利用者数	定員	利用者数	令和2年4月
静岡市	3,711	3,449	2,544	2,272	180	169	198	192	0	0	4,210

(出典・時点) ・介護医療院、介護療養病床、介護老人保健施設：介護事業状況報告・2020(令和2年)年4月利用分 ※四捨五入により数字が一致しないものがある
 ・医療療養病床：療養病床転換意向調査・2020年度
 ・訪問診療：しずおか茶っシステム集計データ2020(令和2年)年4月利用分

2023年の在宅医療等の必要量と提供見込み(市町推計)②

○2023年の必要量(地域医療構想)と提供見込み量(市町推計値)の差

(人/月)

市町名	必要量(追加的需要分+高齢化に伴う需要分)					提供見込み量(追加的需要分+高齢化分)									
	合計	入院医療から在宅医療へ(追加分)		高齢化に伴う需要増		介護医療院	外来	介護老人保健施設	訪問診療	その他					
		〔療養病床〕	〔一般病床〕	〔介護老人保健施設〕	〔訪問診療〕					介護老人福祉施設	特定入所者生活介護	看護小規模多機能型	訪問看護	医療病床	
静岡市	7,436	740	177	2,849	3,670	378	0	2,602	4,456	0	0	0	0	0	

(出典) 必要量：静岡県地域医療構想(国の機械的試算)、提供見込み量：市町の推計値の積み上げ(10月25日時点の暫定値) ※四捨五入により数字が一致しないものがある

○提供見込の主な考え方

市町名	内容
静岡市	老健の58床新設を見込む。主に老健と訪問診療で対応。

13

**今期（第7期）計画策定時
在宅医療等の必要量と提供見込み**

2025年の在宅医療等の必要量と提供見込み（前回推計）

○2025年の在宅医療等の必要量と提供見込み(市町推計：第7期計画策定時)

(人/月)

圏域名	必要量(追加的需要+高齢化分)					提供見込み量(追加的需要分+高齢化分)									
	必要量(追加分)		必要量(高齢化分)			介護医療院	外来	介護老人保健施設	訪問診療	その他	介護老人福祉施設	特定施設入所者生活介護	小多機・看多機	短期入所療養介護	
	療養病床	一般病床	介護老人保健施設	訪問診療											
賀茂圏域	1,024	110	87	399	428	63	87	336	531	7	7	0	0	0	
熱海伊東圏域	1,643	144	112	651	735	0	112	514	953	63	43	0	0	20	
駿東田方圏域	7,186	891	378	2,647	3,271	370	514	2,244	3,893	165	49	34	82	0	
富士圏域	3,723	480	152	1,479	1,612	23	612	1,284	1,754	50	50	0	0	0	
静岡圏域	8,082	987	235	3,014	3,845	883	340	3,014	3,845	0	0	0	0	0	
志太榛原圏域	4,585	582	205	1,966	1,832	50	205	1,800	2,463	67	67	0	0	0	
中東遠圏域	4,198	801	157	1,820	1,420	229	717	1,645	1,558	49	31	0	18	0	
西部圏域	9,652	1,611	369	3,510	4,162	708	1,288	3,429	4,227	0	0	0	0	0	
県計	40,093	5,606	1,695	15,486	17,305	2,326	3,875	14,266	19,224	401	247	34	100	20	

(出典) 必要量：静岡県地域医療構想(国の機械的試算)、提供見込み量：市町の推計値の積み上げ

※四捨五入により数字が一致しないものがある

圏域	内容
賀茂	介護医療院は転換見込み以上、老健は現在定員に比して上回ることから調整 訪問診療は郡市医師会や公営診療所等より、数値計上は了承を得た。
熱海伊東	老健の不足分を訪問診療により対応することについて関係機関と調整
駿東田方	各市町でのサービス見込み方を整理し調整
富士	介護医療院23は他圏域での介護療養実績を見込む。訪問診療は郡市医師会に提供体制の余力を確認した。
静岡	サービス見込み量への反映は圏域委員に説明済。本数値は次回の市策定部会(=圏域会議)で提示予定
志太榛原	訪問診療の増は、意見付きの了承(家族の介護を支える介護サービスの提供について市町の責任が求める意見)
中東遠	要介護1以下は移動支援と介護サービスを組み合わせて外来対応と説明し了承を得た。
西部	要介護1以下は移動支援と介護サービスを組み合わせて外来対応と説明し了承を得た。

2020年の在宅医療等の必要量と提供見込み（前回推計）

○2020年の在宅医療等の必要量と提供見込み(市町推計)

(人/月)

市町名	必要量(追加的需要+高齢化分)					提供見込み量(追加的需要分+高齢化分)							
	必要量(追加分)		必要量(高齢化分)			介護医療院及び療養病床	外来	介護老人保健施設	訪問診療	その他	介護老人福祉施設	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型
	療養病床	一般病床	介護老人保健施設	訪問診療									
賀茂圏域	832	41	33	355	403	32	33	346	422	0	0	0	0
熱海伊東圏域	1,323	54	42	574	653	54	42	514	695	18	18	0	0
駿東田方圏域	5,596	334	142	2,238	2,882	140	317	2,041	3,080	17	10	8	0
富士圏域	2,965	180	57	1,323	1,404	23	205	1,211	1,452	74	74	0	0
静岡圏域	6,466	370	88	2,601	3,407	370	88	2,355	3,407	246	246	0	0
志太榛原圏域	3,700	218	77	1,756	1,649	185	77	1,772	1,666	0	0	0	0
中東遠圏域	3,258	300	59	1,624	1,274	219	286	1,578	1,127	48	30	0	18
西部圏域	7,617	604	138	3,204	3,670	604	191	3,152	3,670	0	0	0	0
県計	31,756	2,102	636	13,675	15,343	1,627	1,239	12,968	15,519	403	378	8	18

(出典) 必要量：静岡県地域医療構想(国の機械的試算)、提供見込み量：市町の推計値の積み上げ

※四捨五入により数字が一致しないものがある

圏域名	内容
賀茂	老健は現在定員に比して上回ることから調整 訪問診療の増は医師会と公営診療所等での対応で了承を得た。
熱海伊東	介護医療院は現存の医療療養病床での対応 老健の不足分を訪問診療により対応することについて関係機関と調整中
駿東田方	各市町でのサービス見込み方を整理し調整
富士	訪問診療の要介護1以下を外来対応、施設関係の不足分を訪問診療等での対応とし了承を得た。
静岡	サービス見込み量に反映させることは説明済み。次回の会議で提示予定
志太榛原	老健は29年度中200床増加 介護医療院及び療養病床不足分を訪問診療対応と説明し、意見付き(訪問診療を支える介護サービス等の提供)で了承を得た。
中東遠	要介護1以下は移動支援と介護サービスを組み合わせて外来対応と説明し了承を得た。
西部	2020年時点は施設不足分が限定的なことから、不足分は移動支援と外来の組み合わせ対応と見込むことで了承を得た。

直近の在宅医療等の提供実績

(人/月)

○在宅医療等の提供実績

圏域名	①2020年度末提供見込み量 (前回策定)					②直近実績 (既整備分)					差 (②-①)				
	介護 医療院	介護療 養病床	医療療 養病床	介護老 人保健 施設	訪問 診療	介護 医療院	介護療 養病床	医療療 養病床	介護老 人保健 施設	訪問 診療	介護 医療院	介護療 養病床	医療療 養病床	介護老 人保健 施設	訪問 診療
静岡市	0	370	0	2,355	3,407	192	169	0	2,272	4,210	192	-201	0	-83	803

(出典・時点)

- ・介護医療院、介護療養病床、介護老人保健施設：介護事業状況報告・2020（令和2年）年4月利用分
- ・医療療養病床：療養病床転換意向調査・2020年度
- ・訪問診療：しずおか茶っとシステム集計データ2020（令和2年）年4月利用分

